



十河信二・キク **夫妻**を
主人公とした

NHK朝の連続テレビ小説

提案書

十河信二と妻キクを主人公としたNHK朝ドラ誘致推進協議会

人より**我慢**のできない**男**と、人より**不器用**な**妻**の

2人の**愛情物語**を、NHK朝ドラに、
ご提案します。



十河信二

(新居浜市出身)

東京帝大卒業後、後藤新平の薫陶を受け、鉄道官僚として活躍。帝都復興部長、西条市長など歴任。昭和30年（1955年）第4代国鉄総裁就任。新幹線事業を手掛ける。後に「**新幹線生みの親**」と言われる。



十河キク

(函館市出身)

札幌の女学校在学中、東京で音楽の勉強をすると一大決心。上京の後、東京音楽学校等で学ぶ。十河信二と学生結婚。波乱万丈な夫の人生を陰に日なたに支え続ける。

日本を元気にする、エネルギーに満ちた主人公！

短気で「雷おやじ」と呼ばれていた

» まさに生きる弾丸列車！

愛媛県**新居浜市**生まれ。西条中学、一高、東京帝大へと進学。鉄道官僚、満鉄理事、**西条市長**、病身を押し71歳から2期8年を務めた国鉄総裁。老いるどころか70歳を過ぎてからが人生本番の、休まず走り続けた人生。そのバイタリティは凄まじい。

» 「オレの雷は『春雷』だよ」

元来、エネルギーで声も大きい。そのため、ちょっと注意したつもりでも相手が驚く。

「世間ではオレを雷おやじと呼んでいるが、オレの雷は『春雷』だよ」

利他優先の信念・情熱が、まわりの人々を動かす原動力となる。



明治17年-昭和56年
(享年97歳)

バイタリティ = 人間的魅力で切り開いてきた人生

人生は鉄道と共にあった

十河の幼少期、**故郷の新居浜**に日本初の山岳鉱山鉄道「**別子鉱山鉄道**」が敷設された。

近代化の象徴ともいふべき鉄道をその目で見た十河少年は、力強く噴煙を上げて突き進む機関車の姿に鉄道の可能性を感じた。

やがて、鉄道は斜陽産業だといわれる時代に**第4代国鉄総裁**となった十河は、**弾丸列車構想**をぶち上げる。



» 若手職員たちの心を動かす

「このままでは国鉄は道路と空にやられてしまう。私は君たちに『夢』を与えたい。」

若手職員はビックリ。十河の語る夢に強い**希望**と**未来**を見る。

» 国会を相手に戦う

十河は「**かならず国民のためになる**」と信念を貫き、私が何とかするとまで言い切り、予算案を**少額に装い**国会を通した。

国会とは戦うが世論は味方に = 夢を語る先見の明

登場人物の豊かさが織りなす、波乱万丈の人生劇！

郷土 日本を変えた郷土の先輩、恩人



物理療法の先駆者
眞鍋嘉一郎



台湾電力の父
松木幹一郎



近鉄中興の祖
佐伯勇



初代住友総理人
広瀬幸平

キクの学友

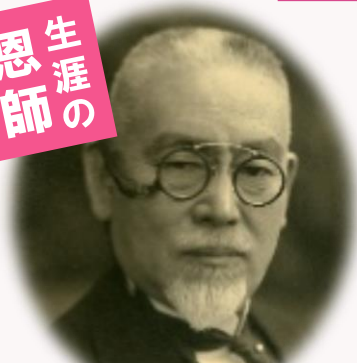


日本初女性ピアニスト
久野久子



日本初国際パル歌手
三浦環

生涯の恩師



鉄道院総裁
後藤新平

恩師 近代日本黎明の時代を歩んだ恩師に学ぶ



東京帝大講師
夏目漱石



元白虎隊士
東京帝大大学長
山川健次郎



一高校長
狩野享吉



東京帝大講師
小泉八雲

政界 戦前戦後の日本を動かす政治家との縁



鉄道院総裁
仙石貢



十河の影響で就任！
総理大臣
吉田茂



総理大臣
鳩山一郎

学友 各界の中核で活躍する学友



近鉄初代社長
種田虎雄

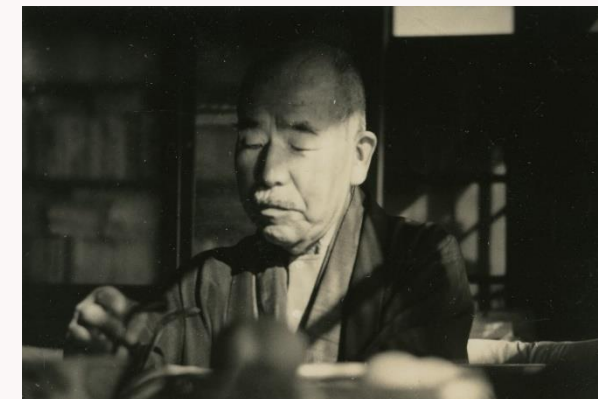


学習院院長
安倍能成



岩波書店創設者
岩波茂雄

敵味方入り乱れる人生



≫ 後藤新平に可能性を見出され、鉄道省へ

「おい十河、後藤新平という偉大な人物がいる。一度、会って見ないか」
台湾電力の父となる松木幹一郎の一言で後藤新平と出会う。

⊕ エピソード 後藤「成績はどうだ？」 十河「成績などどうでもいいだろう」 後藤「悪いのか」
十河「真ん中だ」 後藤「じゃあ、5番以内に入れ」

≫ 冤罪で突然の逮捕、失職、救う親友

大正13年（1924年）、逮捕された復興局整地部長の稲葉健之助が、言い逃れのため「十河の指示だ」と言ってしまった。でっち上げの冤罪で、大変な疑獄事件にされてしまう。

⊕ エピソード 鉄道省をクビになり、拘留期間97日にも及んだ。
そこで親友である種田は十河に自分の給料の半分を差し出す。

波乱万丈の人生劇 = 人生における厚み

生涯にわたり支えあう 信二とキクの愛情物語！

波乱万丈な信二の人生はキクが存在なくしてありえない。7人の子に恵まれ生涯愛し合う。

» 不器用なキクが信二を支え、時には叱咤

キクは**整理整頓が苦手**。出かける信二の身支度が手間取るなど、信二の雷がよく落ちた。

+ エピソード

キクは厳しい信二に**ただ服従しているだけではなく、いざという時には叱咤する**など、信二を**圧倒していた**。

» 離れていても常にキクを想う信二

外遊先では、信二が見たものについて朝に夕にキク宛ての**葉書**を書いた。

+ エピソード

葉書には感動を共有するだけでなく、「**キクと一緒に車に乗って旅をした**」という一文も。

» 多忙の中、病床のキクの食事を作り続ける

信二の正念場と言える時期にも、気の短い信二が**丹念にキクの世話をした**ことに周囲は驚く。

+ エピソード

寝る時は互いの指を**赤いヒモ**で結ぶ。「**なんかあったら、ヒモを引っ張りなさい**」

互いに思いやる夫婦の姿 = 愛情物語





提案理由

POINT

1 日本を元気にする **エネルギーに満ちた** 主人公！

POINT

2 登場人物の豊かさ が織りなす **波乱万丈の人生劇** ！

POINT

3 生涯にわたり支えあう 信二とキクの **愛情物語** ！

十河信二の国民的エンターテインメント性は、 すでにNHKさんに認められていた！



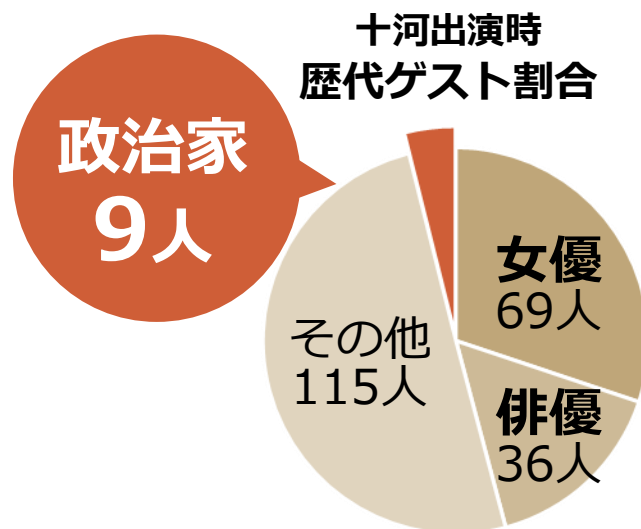
NHK「私の秘密」

昭和30年（1955年）から始まった国民的クイズ番組「私の秘密」にゲスト出演

» **同番組最高視聴率時期**（昭和34年10月）**に出演**

※昭和34年（1959年）夏季(東京地区)48.5% ウィキペディアより

» 歴代ゲストの中でも政治家の選択は気を使う中、
政治家として **9人目の登場** (国鉄総裁2期目)



「視聴率に繋がる」判断 = 国民的エンターテインメント性がある！



ご清聴ありがとうございました。

十河信二と妻キクを主人公としたNHK朝ドラ誘致推進協議会